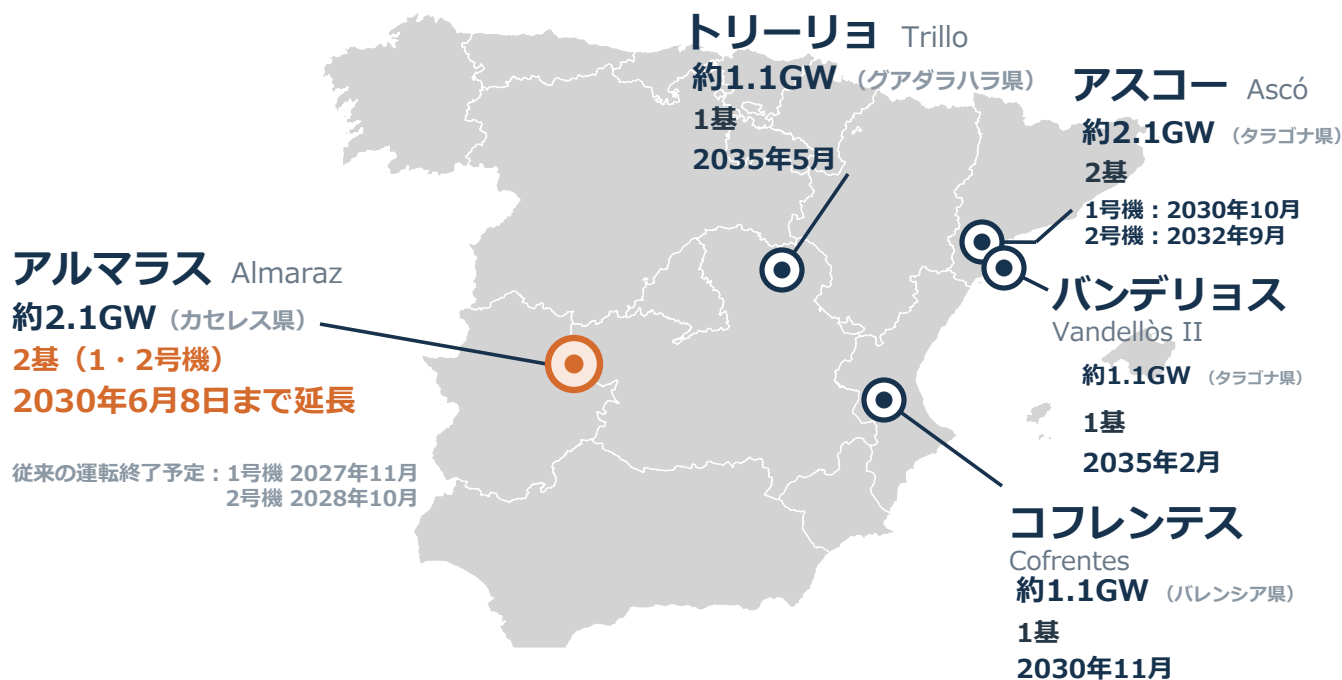


スペインで稼働する原発と脱原発計画

アルマラス1・2号機を2030年6月まで延長、稼働中の7基のうち4基が2030年に運転終了する計画

稼働中の5原発・7基と運転終了時期



ポイント

2030年に

4基が
運転終了予定

(アルマラス1・2号機
アスコー1号機、コフレンテス)

① 稼働中は5原発・7基

アルマラスとアスコーは各2基、
その他3原発は各1基。

② アルマラスのみ2030年 まで延長

政府は他原発の日地位と2035年までの
全廃方針は維持すると説明。

現在の運転終了日程

アルマラス以外は変更なし

2030年 | 4基

アルマラス1・2号機〔6月〕／アスコー1号機〔10月〕
コフレンテス〔11月〕

2032年 | 1基

アスコー2号機〔9月〕

2035年 | 2基

バンデリョス〔2月〕／トリーリョ〔5月〕

(注) アルマラス1・2号機は2026年8月の運転認可更新後の日付。その他は第7次放射性廃棄物総合計画の日程。今後の政策判断・許認可手続きにより変更される可能性がある。2026年8月12日時点。

(出所) 政府資料を基にジェトロ作成